

医療と物語

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 准教授		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野、緩和医療学科、救急・災害医学講座、臨床遺伝学科、教養教育センター		
担当教員	柳谷 千枝子 准教授、木村 祐輔 教授、眞瀬 智彦 教授、佐藤 洋一 名誉教授、山本 佳世乃 特任准教授、平林 香織 非常勤講師、熊谷 治子 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 10 コマ 20 時間
期間	後期		演習 0 コマ 0 時間 実習 0 コマ 0 時間

・学修方針（講義概要等）

医学と医療の違いを考え、人間関係に基づく医療行為を理解するために、近代科学と対極にある物語の世界について考える。医療現場では、細胞や組織、臓器が病気に侵されたときにどのように変化したかを見極める病理診断によって治療が行われる一方で、臨床疫学的な見地と個々の症例を結びつけたエビデンス・ベイスト・メディスン（EBM 科学的根拠に基づく医療）と医療面接において病について語る患者のストーリーから病の原因と治療方法を探るナラティブ・メディスン（物語と対話に基づく医療）の両面から病を考えることが行われている。

本講義では文学の物語享受の有り方を通して、本学附属病院ならびに災害医療センターの臨床医、学内外の専門家の協力を仰ぎながら、病のストーリーを受容するための基本姿勢を学修する。文学においては、とりわけ「死」や「痛み」をテーマとする作品を精読し、グループワークやディスカッションを通して、生きることと死ぬことの意味を自分に問いかける。

・教育成果（アウトカム）

文学がときに病いと密接に関わりながら創造されてきたことを理解し、医療現場における病者の物語、病いの物語、医療従事者の物語に対する問題意識を持つ。文学の韻律や象徴の技法を学ぶことによって、文学を読み解くように病者や病いの現実を受容するアプローチの可能性を理解する。また、臨床現場における最新の知見や症例における物語的側面に意識を向け、誠の医療人として地域での医療体験実習や臨床実習に臨む心構えを形成する。様々な物語を読むことによって、自分自身の人生、他者との関わり、医療人としての立場におけるナラティブを考え続けるためのビジョンを形成する。（ディプロマポリシー：1、2、4、6）

・到達目標（SBO）

1. 医学と医療の違いについて説明することができる。
2. 患者、医療者、病いそれぞれの物語について、多角的観点から説明することができる。
3. ナラティブ・メディスンとナラティブ・ベイスト・メディスン、エビデンス・ベイスト・メディスンの違いを具体的に述べるができる。
4. テキストで機能的に使用されるメタファーを抽出し、その意味を解釈することができる。
5. 臨床現場における病いと治癒を媒介するナラティブ・アプローチに目を向けることができる。
6. 多くのテキストを味読することにより、死と生、痛みや苦しみについて自身の考えを述べるができる。

・ 講義日程
【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/3	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 准教授	<p>授業ガイダンス、「ナラティブ・メディスンと Graham Greene 小説の中の病者」</p> <p>1. ナラティブ・メディスンの概要および文学との関連性について理解できる。</p> <p>2. A. Kleinman の病いの定義について理解し、説明できる。</p> <p>3. G. Greene の作品に描かれている病める者特有の表情や行動を分析し、説明できる。</p> <p>事前学修：ナラティブ・メディスンの定義について調べる。</p> <p>事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>
9/10	木	2	緩和医療学科	木村 祐輔 教授	<p>治療の物語—臨床における緩和ケア</p> <p>1. 緩和医療の現場における治療とケアの実際について理解できる。</p> <p>2. 病に罹患した患者や家族の苦悩を理解し、医療人としての自身の役割、あり方を考えることができる。</p> <p>事前学修：緩和ケアとは何かについて調べておく。</p> <p>事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>
9/17	木	2	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	<p>災害医療の歴史と東日本大震災での医療活動</p> <p>1. 災害医療の歴史について理解できる。</p> <p>2. 東日本大震災での医療活動の実態について説明できる。</p> <p>3. 東日本大震災以降の大規模災害での医療活動を理解できる。</p> <p>事前学修：災害と災害時の医療活動について調べておく。</p> <p>事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>
9/24	木	2	教養教育センター	熊谷 治子 非常勤講師	<p>「病」と「死」の物語—T. S. エリオット原作ミュージカル『キャッツ』と「うつろな人々」とその周辺</p> <p>1. T. S. エリオットの詩の物語性を理解できる。</p> <p>2. T. S. エリオットの詩から「病」と「死」について理解し、説明できる。</p> <p>事前学修：T. S. エリオット原作のミュージカル『キャッツ』のあらすじを調べておく。</p> <p>事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>

10/1	木	2	教養教育センター	佐藤 洋一 名誉教授	<p>文学とエンタメにみる医科学の歴史ー『フランケンシュタイン』と『ファウスト』を例にして</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識の間違った応用（非倫理的な応用）の例を述べるができる。 2. 知識を無限大にふやすことの是非を論じることができる。 3. 科学の進歩が必ずしも人類の平和をもたらすわけでは無いことを踏まえ、倫理的な応用について持論を展開できる。 <p>【双方向授業】授業中、インターネットクリッカーを使用する。</p> <p>事前学修：『フランケンシュタイン』と『ファウスト』のあらすじを調べておく。</p> <p>事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>
10/22	木	2	教養教育センター	平林 香織 非常勤講師	<p>『竹取物語』のナラティブを考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『竹取物語』の物語要素を理解できる。 2. 文学作品読解とナラティブ・メディスンへの実践の共通性を理解できる。 <p>【グループワーク】</p> <p>事前学修：『竹取物語』についての知識を整理しておく。</p> <p>事後学修：登場人物のナラティブを考えながら本（小説）を1冊読む。</p>
10/29	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 准教授	<p>ビブリオバトル（クラスマッチ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分が選んだ作品についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。 2. ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げるができる。 <p>【プレゼンテーション】</p> <p>事前学修：My Biblio を選んで期日までにコンテンツシートを作成、提出する。</p> <p>事後学修：ビブリオバトルのテーマについて自身と他者の見解の相違をまとめる。</p>
11/5	木	2	臨床遺伝学科	山本 佳世乃 特任准教授	<p>遺伝性疾患の物語ー臨床におけるナラティブ・カウンセリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遺伝性疾患をもつ患者・家族の語りから「病い」の経験の多様性を理解できる。 2. 聞き手が語り手に及ぼす影響を体験し、理解できる。 <p>事前学修：遺伝カウンセリングの定義を調べる。</p> <p>事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>

11/12	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 准教授	<p>ビブリオバトル（ファイナルマッチ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 選出されたバトラーとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げるができる。 3. 選出されたバトラーの発表を聴いて、自分の考えや意見を論理的に述べるができる。 <p>【プレゼンテーション】</p> <p>事前学修：スタナビの「ビブリオバトル」を読み、方法を理解する。</p> <p>事後学修：各バトラーの発表の要点と自身の見解をまとめる。</p>
11/19	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 准教授	<p>総括、様々な物語を通して考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義全体を通して病者の物語、病いの物語、医療従事者の物語を通じて生きることと死ぬことの意味を考察し、意見をまとめることができる。 2. 患者が抱える様々な苦痛を読み解き、理解することができる。 <p>事前学修: 講義資料やリアクションペーパーをもとに全体を通して印象に残ったキーワードを挙げ、医療と物語の関係性について自身の考えを整理しておく。全人的苦痛（トータルペイン）について復習する。</p> <p>事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	ナラエビ医療学講座	斎藤 清二	北大路書房	2011
参	医療におけるナラティブとエビデンス—対立から調和へ 改訂版	斎藤 清二	遠見書房	2016
参	<i>Narrative Medicine</i>	Rita Charon	Oxford UP	2008
参	<i>Narrative Based Medicine</i>	Trisha Greenhalgh & Brian Hurwitz	BMJ	1998
参	<i>Medical Humanities: An Introduction</i>	Thomas R. Cole et al.	Cambridge UP	2015
参	史上最高に面白いファウスト	中野 和朗	文藝春秋	2016
参	フランケンシュタイン（光文社古典新訳文庫）	シェリー著 小林 章夫 訳	光文社	2010
推	音楽と絵画 で読む T. S. エリオット: 『プルフロクその他の観察』から『荒地』へ	熊谷 治子	彩流社	2018

・ 成績評価方法

【総括的評価】

1. 期末レポート: 50%
2. 毎講義のリアクションペーパー: 30%
3. プレゼンテーション、グループワーク・ディスカッション、ビブリオバトル等への積極的参加: 20%

【形成的評価】

講義内容に関する質疑応答により、理解度評価を行う。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1、2、3、4、6	1、2		50					50
2、6	1、6					20		20
2、5、6	1、2、4						30	30
合計			50			20	30	100

備考：

本科目では、期末に提出するレポート（50%）をもって総括的評価（定期試験に相当）とする。

「その他」（30%）は、毎回のリアクションペーパーによる評価を指す。

「発表」（20%）は、ビブリオバトル、グループワーク、ディスカッションへの積極的参加を含む。

・ 特記事項・その他

1. 本講義では、文学作品・映像・音楽を用いたナラティブ（物語）に関するグループワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション（ビブリオバトル）を行う機会を設ける。
2. 講義内容をもとに、毎回リアクションペーパーを書いて提出することとする。リアクションペーパーは採点の上、返却する。
3. 一部、「医療と法律」、「パーソナリティ心理学」、「人間関係論」の他科目と連携してビブリオバトルを実施する。
4. 事前学修として、講義で取り上げる作品や作家、主要テーマについて調べておくこと。また、参考書および推薦図書を一読しておくことが望ましい。事後学習として、講義資料をもとに要点をまとめ説明できるようにする。各コマの事前・事後学修にはそれぞれ45分程度を要する。さらに、ビブリオバトルの準備に5時間、期末レポート作成に5時間程度の時間を確保する必要がある。
5. 成績確定後、希望者にはプレゼンテーションおよびレポート評価を開示する。希望者は科目責任者に連絡すること。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

- ① 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。
- ② 様々な領域の専門家による講義により、多様な価値観や広い視野に立った物の見方や考え方を学ぶ。
- ③ 緩和医療の現場における治療とケアの実際を、臨床事例を交えて行う。
- ④ 医科学者として研究に従事してきた実績と、厚生労働省指導医療官として医療人の倫理面の監督にあたっている現職の経験をもとに、文学に表出された科学の光と影を紹介する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC Panasonic CF-J9	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVDプレーヤー	1	講義資料の提示
講義	BD/DVD プレーヤーLogitec LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示
講義	BD/DVD プレーヤーLogitec LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示